



2026年2月12日

各 位

会 社 名 高 島 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長高島 幸一
(コード番号 8007 東証プライム)
問い合わせ先 企画統括部長 德本貴久
TEL 03 - 5217 - 7248

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり、2025年5月13日に開示しました2026年3月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想の変更は予定しておりません。

記

業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値(2025年4月1日～2026年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 110,000	百万円 2,600	百万円 2,600	百万円 1,900	円 銭 55.62
今回発表予想(B)	92,000	2,200	2,300	1,600	46.84
増減額(B-A)	18,000	400	300	300	
増減率(%)	16.4%	15.4%	11.5%	15.8%	
(ご参考)前期実績(2025年3月期)	94,503	2,129	2,024	1,566	45.86

(注)当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

建材セグメントにおける連結子会社増の寄与や産業資材セグメントにおける受注拡大があったものの、建材セグメントにおける非住宅向け基礎工事等の低調や産業資材セグメントにおける事業ポートフォリオの見直しによる事業撤退・縮小、電子・デバイスセグメントにおけるアセンブリ分野の低迷により、連結売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、産業資材セグメントにおける工場稼働率の向上による増益要因

はあったものの、電子・デバイスセグメントの減収に加え、建材セグメントでの業績拡大に向けた営業活動費等の先行投資費用が増加したことが利益を押し下げる要因となり、前回予想を下回る見通しとなりました。

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上